

AED 位置情報
[財団全国 AED マップ]
検索画面→



女性部

普通救命講習 I

- 日 時：令和6年2月27日（火）
午前9時30分
- 場 所：協会3階会議室（名古屋市中区）
- 参加者：19名（会員 8名、非会員（オブザーバー）
11名）

女性部（東久保真弓会長）は、女性を対象とした「普通救命講習 I」を開催しました。

同講習会は令和2年2月に初めて開催され、女性向けであるということから好評を博しておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から数年開催を見合わせておりました。

昨年コロナ禍が収束の様子を見せたことから令和5年3月より再開し、今年は会員以外の多くのオブザーバーの参加があり救急救命への意識の高さが伺われました。

講習会は水野映里香委員の司会・進行の下はじまり、開会の挨拶で東久保会長は「本日は女性部の皆様とオブザーバーの方の参加で、普通救命講習 I を開催致します。救命講習は、もしもどこかでの救急の際、誰かの命を助けることができる大切な講習です。また、本日の内容は、会社内、ご家庭内で話し合っただけ、救命に関心を持っていただけるきっかけとなれば願っております。」と述べました。

講師として名古屋市救急救命研修所応急手当研



講師の方と一緒に集合写真

修センター応急手当指導員 増山真人氏、同センター応急手当指導員 山田有里菜氏をお招きし、「あなたが救える命のために」と題して講習が始まり、救命の連鎖（心停止の予防、早い通報、早い応急手当、早い救命処置）について解説がありました。早い応急手当では、近くにAEDが無い場合はスマホでAEDの位置情報を検索して、いち早く手当を行ってくださいとのことです。統計では市民が電気ショックを行った場合の1か月後の社会復帰率は40.1%で、救急隊が到着後に電気ショックを行うより2倍以上の高い数値が出ています。また、初めて講習を受ける方は真剣に実技に取り組んでいました。

講習後オブザーバーの方々は女性部の取組に共感し入会を希望された方もおられ、救命に対する意識啓発ができた実り多き事業でした。



司会・進行の水野委員



挨拶をする東久保会長



講習会の様子



左から 講師の増山指導員、山田指導員



講習会の様子



講習会の様子